

貫のお祓い【ぬきのおはらい】



開催場所

小倉南区大字貫

荘八幡神社

開催日

3月30日（毎年3月最終日曜日）

【芸能の概要】

元和5年(1619)、時の領主・細川忠興が宇佐八幡宮の放生会を復活させた際、鈴石八幡宮(荘八幡神社)の放生会も復活させて現在「貫のお祓い」の名称で行われている。氏子が作った花傘が神輿に随従して御神幸をする。現在では、3月の最終日曜日に行われる。

【芸能の特徴】

元和(げんな)5(1619)年、豊前豊後両国の大主細川忠興侯)が宇佐八幡宮に参内し、天下泰平の祈念の為、御輿を造り放生会が現在、貫のお祓いの名称で行われているものの起源である。

【使用する祭具・道具など】

行列の際に子ども一人が小さな太鼓をたたく。また神事の際には、太鼓、横笛をそれぞれ神主一人ずつが受け持つ。

・アクセス

西鉄バス弥生が丘営業所バス停より徒歩5分

・周辺の観光

平尾台、管生の滝、千仏鍾乳洞、交通科学館
合馬神楽、隠蓑のしびきせ祭

・近くの特産品

たけのこ、トマト、食肉用牛、自然木工芸品

